

東方タツグ的
エロ本

成年
向け



東方タツグ的
エロ本

成年
向け



～タッグトーナメント観戦中につまみ食い紫～

「白熱した試合を見てたら体が火照つてしまいまして…♥」
「ちやつとおちんぼ買ってくださいますか…♥」

「ふおおおっ…つるつる手袋コキ上げえッ…」

「ゆかりんのエロフェラ顔見てるだけで出ちやいそだよ…」

「あーッ」

「あーッ」

「あーッ」

「あーッ」

「あーッ」

「あーッ」

「あーッ」

「あーッ」

「あーッ」

「あーッ」

「あーッ」

「んふ…♥おいしいおちんぼですわあ…♥
こんなにガチガチにして
溜まっていますのね…♥」

「ああ、出るよッ…
ゆかりん全部飲んでねッ…」

「よし、俺は可愛い顔にぶっかける
からねッ…」

「ああん…♥早サマーメン
MANKOJINVALENDU565…♥」

～命蓮シムでセクササイズ～

「それでは命蓮シム名物

個人セクササイズレッスンですよ♡」

「ちよっと汗臭いガモじれませんが

我慢して♡」

「汗臭いだなんて!!

白蓮様の汗、すごく興奮しますッ……!」

「ふふ…♡お上手ですね

貴方は今日が初めてですので

とリアス、腰に3発、頑張ってみて

♡はいね♡」

hxyo

hxyo

hxyo

「ん…♡ながなが良いおちんぼですね」

「白蓮様のおまんこ吸い付いて、先っちょだけなのにもうイっちゃいそうですッ……!」

「ありあり、ちゃんとして、スリム運動しながら射精しない♡タメてよ♡」

「はい、リアス、ミカル、白蓮無三ッ♡」

「うおおおッ……!」

「白蓮無三ッ♡はい、頑張る♡白蓮無三ッ♡」

「ああ…もうッ…出ッ……!」

「出す時は思い切り腰を打ち付けて子宮に直相流し込んで♡はいね♡」



「ふああんッ…♡オーバーワークですよ♡」

「せっせいのほのおにエロって…♡
あああッ…♡まだいいからッ…♡」

「すみませんッ…もう止まらなからずッ…」

「んッ…♡私、まだイヤじゃないからッ…♡」

「んッ…♡私、まだイヤじゃないからッ…♡」

「んッ…♡私、まだイヤじゃないからッ…♡」

「んッ…♡私、まだイヤじゃないからッ…♡」

「んッ…♡私、まだイヤじゃないからッ…♡」

「んッ…♡私、まだイヤじゃないからッ…♡」

～命蓮ジムでセクササイズ～

「それでは命蓮ジム名物

個人セクササイズレッスンですよ♡」

「ちよっと汗臭いかもしれませんが

我慢してくださいね♡」

「汗臭いだなんて!!」

「白蓮様の汗、すくく興奮しますッ……」

「ふふ…♡お上手ですね

貴方は今日が初めてですので

とっぴあえす腫に3発、頑張ってみて

くださいね♡」

「ん…♡ながなが良いおちんぼですね」

「白蓮様のおまんこ吸い付いて、先っちょだけなのにもうイっちゃいそうですッ……」

「あちあちゅちゃんごでスノン運動しながら射精しないごクマですッ♡」

「はいりスミカルに無無三ッ♡」

「うおおおッ……」

「無無三ッ♡♡♡無無三ッ♡無無三ッ♡」

「ああ…もうッ…出マッ……」

「出す時は思い切り膣を打ち付けて子宮に直相流し込んでくださいね♡」



「ふああんツ…♥オーバーワークですよお♥」

「せーのっで回すといい♥
あああツ…♥まだほいませうツ…♥」

「すみませんツ…もう止まらなからですツ…」

「んっ…♥私、まだイヤミさやいませうツ…♥」

～試合後の天子をマッサージ～

「天子ちゃん試合お疲れ様！
じゃあ、さっそくいつものマッサージで
お腹の奥からほっかばかにしてあげるからね」

「毎回毎回、試合後にこんな事して…
ホントは私とエッチしたいだけなんじゃないよ…
この変態っ！」

「汗だくでフェロモン出しまくりの天子ちゃんのお尻みたら誰でも食べたくなっちゃうよ
それに天子ちゃんも気持ち良いでしょ？」

「へ、別に気持ち良くなんて…♡」
「そんな素直じゃない天子ちゃんも
ちんぽでコスってあげると…」
「ちんぽ…あ…やめなさいっ♡」
「ほーら、おまんこはこんなに素直に
なってるよ…」
「ひんっ…♡そんなにの…♡
全然良くないんだかりや…♡」
「もう声がトロットロになってるよ…
ホント可愛いなあ天子ちゃん」



～試合後の天子をマッサージ～

「天子ちゃん試合お疲れ様！
じゃあ、さっそくいつものマッサージで
お腹の奥からぼつかばかにしてあげるからね」

「毎回毎回、試合後にこんな事して…
ホントは私とエッチしたいだけなんじゃないよ…
この変態っ…」

「汗だくでフェロモン出しまくりの天子ちゃんのお尻みたら誰でも食べたくなっちゃうよ
それに天子ちゃんも気持ち良いでしょ？」

「へ、別に気持ち良くなんで…♥」
「そんな素直じゃない天子ちゃんも
ちんぽでコスってあげると…」
「さみ…(あう)…やめなさいよ！♥」
「ほーら、おまんこはこんなに素直に
なってるよ…」
「ひんっ…♥そんじやの…♥
全然良くないんだかりや…♥」
「もう声がトロットロになってるよ…
ホント可愛いなあ天子ちゃん」



~ゆゆ様と大人のスパークリング~

「ゆゆ様の腋汗…すごい酸の味がしますよ…」

「ひあッ…♡酸なんて舌めっちゃだめよお…♡
馳すかしいわあ…♡」

「でも、さつきよりおまんこがキュッキュツと
ちんぽに食いついてきますよ?」

「あん…♡そんなのお…♡嘘よお…♡」

「ああ、出るッ…腋汗味わいながら
子宮にミルク出ますッ…」

「お出されだら恥モイッちゃうんツ…♡」



~ゆゆ様と大人のスパークリング~

「ゆゆ様の腋汗…すごい酸の味がしますよ…」

「ひあッ…♡酸なんて妬めちゃだめよお…♡
恥ずかしいわあ…♡」

「でも、さつきよりおまんこがキュッキュツと
ちんぽに食いついてきますよ？」

「あん…♡そんなのお…♡嘘よお…♡」

「ああ、出るッ…腋汗味いながら
子宮にミルク出ますッ…」

「今出されたら恥モイッちゃうんッ…♡」

